

book

江森浩子

小さな島の分校物語
ある先生と生徒の
愛情あふれる一年

『最後の小学校』

秋山 忠嗣 著
講談社刊

舞台は神保町にある総合出版社である玄武書房の辞典総編集部。

「辞書は、言葉の海を渡る舟だ」「海を渡るにふさわしい舟を編む」。

辞典編集のプロフェッショナルなこだわりの数々、製紙会社や印刷会社の協力のもとに最終的に新国語辞典「大渡海」が完成する描写は圧巻。

不器用ながら、この上ない純粋な恋愛小説としても楽しめる。本を愛する人、本作りに関わっているすべての人におすすめしたい作品。



池田敬二 ◆大日本印刷で出版印刷の営業・企画部門を歴任。日本電子出版協会クロスメディア研究委員会委員長。現在、一般社団法人電子出版制作・流通協議会事務局に向向。

玄界灘に浮かぶ小さな向島の小学校の話聞いた時、「本にしたい!」と思い、出版社にいる友人の力を借りて現実となりました。

たった一人の生徒。1対1の授業、毎日船で運ばれてくる給食。さつきちゃん卒業したら、島には入学する児童がないため休校になる。

島だからこそできる活動・教

育とは? 休校前の貴重な一年間をまとめた記録です。

情熱ある素敵な先生に出会えるって幸せです。私も島の人の気持ちになりながら、読み進めました。

新たなスタートを迎える人にエールを送りたくなる一冊です。



えもり・ひろこ ◆共同テレビジョンプロデューサー。2007年放送の「佐賀のがばいばあちゃん」(フジテレビ系列)の制作を統括。

『舟を編む』
三浦しをん 著
光文社刊